

インドネシア ジャカルタにおける大規模開発事業 「スナヤン・スクエア」の開発フェーズが完了

当社のアジア統括現地法人 カジマ オーバーシーズ アジア（以下、KOA）が、インドネシアの首都ジャカルタのスナヤン地区において開発を進めてきた「スナヤン・スクエア」が、2015年8月6日、ホテル「フェアモント・ジャカルタ」のグランドオープンをもって開発フェーズを完了いたしました。

本プロジェクトは、インドネシア政府から借り受けた敷地面積約19万㎡の国有地にショッピングセンター、オフィス、アパートメント、ホテルを複合開発するもので、開発・設計・施工・運営までを担う、40年間のBOT（Build-Operate-Transfer）事業です。KOA傘下のスナヤン・トリカリヤ・スパンナ社が開発・運営を行い、当社建築設計本部が設計を担当し、カジマ・インドネシアが施工を担当しました。

1989年に開発に着手して以来、段階的に施設の建設を進めていく計画は、途中アジア通貨危機に伴うジャカルタ大暴動などの影響で、開発を中断するという厳しい選択も迫られました。こうした海外開発事業ゆえの苦しい経験を何度も乗り越え、待望のプロジェクト全体の完成を迎えることができました。KOAを中心とする当社グループが総力を挙げて取り組んできた事業であり、今後もBOT期間の終了する2036年まで施設運営を継続します。



「スナヤン・スクエア」全景

スナヤン地区は、ジャカルタの“黄金三角地帯”と呼ばれる中心街の南端に立地し、スナヤン国立競技場を中心とする緑豊かな環境に恵まれたエリアで、高級住宅街にも隣接しています。スナヤン・スクエアは、高級ブランドのテナントが多数入居するショッピングセンター「プラザ・スナヤン」や、快適なビジネスシーンを提供するオフィスビル「セントラル・スナヤン」、高級コンドミニアムとしてその品質に高い評価を受ける「アパルトメン・プラザ・スナヤン」など、周辺の環境に適応した大規模複合施設としてその名を浸透させ、ジャカルタのランドマークとなっています。

中でも、スナヤン・スクエアのシンボルである「フェアモント・ジャカルタ」は、シンガポールの「ラッフルズ・ホテル」、ニューヨークの「プラザホテル」、ロンドンの「サボイ・ホテル」を運営するフェアモント・ラッフルズ・ホテルズ・インターナショナルに運営委託した都市型の5つ星ホテルです。洗練されたデザインと質の高いサービスにより、ジャカルタを訪れるビジネス客を中心に高い評価を得ています。

当社は今後も、海外において各地域のニーズに沿った開発事業の積極的な展開を目指してまいります。



「フェアモント・ジャカルタ」全景



ホテル内メインロビー